

9月3日に新潟地方気象台が発表した1か月予報（9月7日～10月6日）では、気温、日照時間ともに平年より高く、降水量は平年並みの見込みです。

稲作技術情報

○稲わらのすき込みと有機質資材で土づくり！

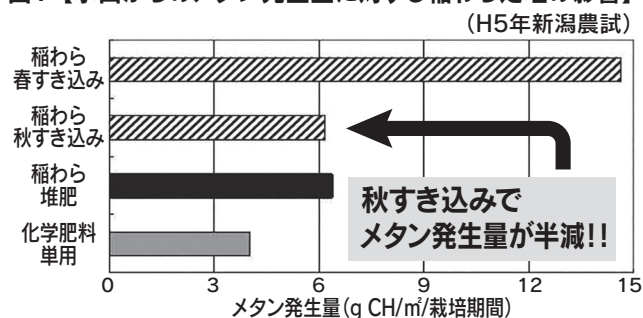
稲わらはすき込むことで、「土づくり」効果が期待できる有用な資源です。地力向上を図るため、有機物である稲わらの秋すき込みを行いましょう。すき込みの耕深は、5～10cmの浅打ちとし、気温が確保できる10月中旬頃までを目途に行いましょう。

【すき込み時期による効果】

秋すき込みは、春すき込みに比べ、分けつ期の土壌の異常還元が抑えられ、温室効果ガスであるメタンの発生や根腐れの原因となる硫化水素の発生が軽減されます。

稲わら等の焼却は行わず有効活用しましょう！

図1：[水田からのメタン発生量に対する稲わら処理の影響]



【稲わら分解促進資材の活用】

秋すき込みの際は、右記の稲わら分解促進剤の併用により、分解が向上します。また、10月中旬以降に秋すき込みする際は併用をオススメします。

表1：稲わら分解促進資材

資材名	容量	剤型	使用量
ワラ分解キング	10kg	顆粒	10kg/10a
アグリ革命	2kg	細粒	2kg/10a

○有機質資材による地力の向上！

堆肥等の有機物を連用することで、地力窒素の発現量、保肥力が増加します。堆肥等の施用目安は年1回0.6～1.0t/10aされています。連用すると窒素やリン酸が増えることから、基肥の減肥も視野に入れた肥培管理が求められます。

図2：乾土4週間培養時の地力窒素発現量

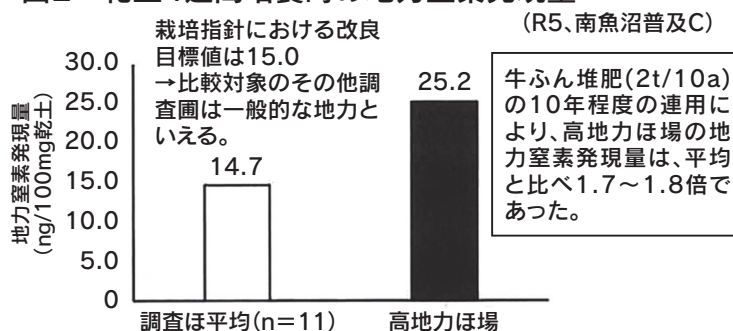


図3：高地力ほ場と一般地力ほ場の玄米品質の比較 (R5、南魚沼普及C)

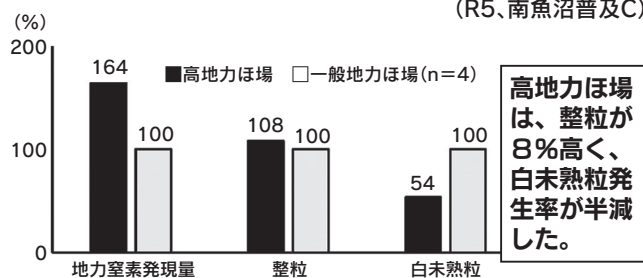
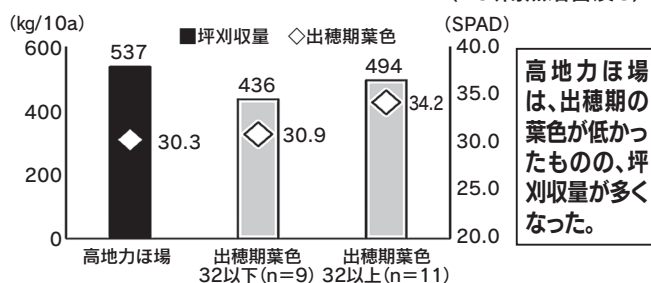


図4：高地力ほ場とその他調査ほ場の出穂期葉色・刈刈量の比較 (R5、南魚沼普及C)



JAからのお知らせ

資材課からのお知らせ



○恒例 秋の土づくりキャンペーンのご案内

期間：令和6年9月15日～10月31日 下記の商品を特別価格にて販売いたします。

※商品の代金決済は通常決済のみとなります。

商品名	特徴	10a当たり施用目安
魚沼ロマン アイアンスター	ケイ酸・リン酸・苦土・鉄・腐食酸をバランスよく含んだ万能土づくり肥料です。	60kg
けい酸加里 プレミア34	高含有のケイ酸と緩効性(く溶性)の加里の効果により長期にわたり効果が継続します。	40～60kg
とれ太郎	高溶出ケイ酸の割合が高く、少量でもケイ酸の効果が期待できます。苦土(マグネシウム)が豊富に含まれているため、食味向上を図れます。	60～80kg
越後の輝き ソイル米スター	低価格かつ10a当り30kg～45kgと少量でケイ酸の効果が期待できます。1袋当たり15kgと持ち運びも容易になります。	30～45kg

※ご不明な点がございましたら、各アグリセンターまでお問い合わせください。

- アグリセンター大和 TEL 777-2431 ●アグリセンター六日町 TEL 773-6121
- アグリセンターしおざわ TEL 775-7488 ●アグリセンター湯沢 TEL 785-5313

新潟県農林水産部よりお知らせ

稲わら等の活用を進めましょう!稲わらや籾がらは貴重な有機資源です!

稲わらや籾がらは焼却せずに、環境にも人にもやさしい「新潟米」づくりを実践しましょう。新潟県では、2050年カーボンゼロの実現に向け、農業分野での温室効果ガス削減の取組みを進めています。

南魚沼地域振興局 農林振興部 普及課 TEL 025-772-3337

収穫めやすとなる

積算温度情報等をタイムリーに受け取れる!!

LINE登録者募集

登録お待ちしております!!



積算温度の情報などを随時発信していきますので是非ご活用ください。

右のQRより登録をお待ちしております。



JAみなみ魚沼 営農部LINE QR

ご不明な点がございましたら、JA みなみ魚沼営農指導課までお問い合わせください。

- ◎アグリセンター大和 TEL 777-3786 ◎アグリセンター六日町 TEL 773-6121
- ◎しおざわ基幹センター TEL 782-1171